



2020年1月30日

各 位

会社名 太洋工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 細江美則
 (JASDAQ・コード: 6663)

問合せ先
 役職・氏名 経営企画部長 園部直孝
 電 話 073-431-6311

繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年12月期において、下記のとおり繰延税金資産の取崩しを行いましたのでお知らせいたします。
 また、当社は、本日開催の取締役会において、2019年7月29日に公表した2019年12月期（2018年12月21日～2019年12月20日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

現時点での将来の課税所得を保守的に見積り、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額138百万円を計上することといたしました。

2. 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,233	2	14	33	5.72
今回修正予想 (B)	3,896	△113	△87	△213	△36.38
増減額 (B - A)	△337	△116	△102	△247	-
増減率 (%)	△8.0	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2018年12月期)	4,582	122	130	69	11.82

3. 修正の理由

通期連結業績予想数値については、電子基板事業においてFPC試作案件の受注減、産機システム事業において産業用ロボット関連案件の検収が次期にずれ込んだことによる販売減及びテストシステム事業において国内市場向け外観検査機の販売減の影響から、売上高は当初予想を下回る見込みであります。損益については、電子基板事業において売上高が当初予想を下回ったこと及び鏡面研磨機事業において大型機の利益率が当初の想定を下回ったことに伴う売上総利益の減少の影響から、営業損益及び経常損益は当初予想より悪化する見込みであります。また、上記のとおり繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損益は当初予想より悪化する見込みであります。

4. 2019年12月期配当予想

期末配当金については、2019年1月30日付当社「平成30年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」からの変更はなく、期末に普通配当として1株当たり3円00銭の配当(年間配当金3円00銭)を行う予定であります。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上